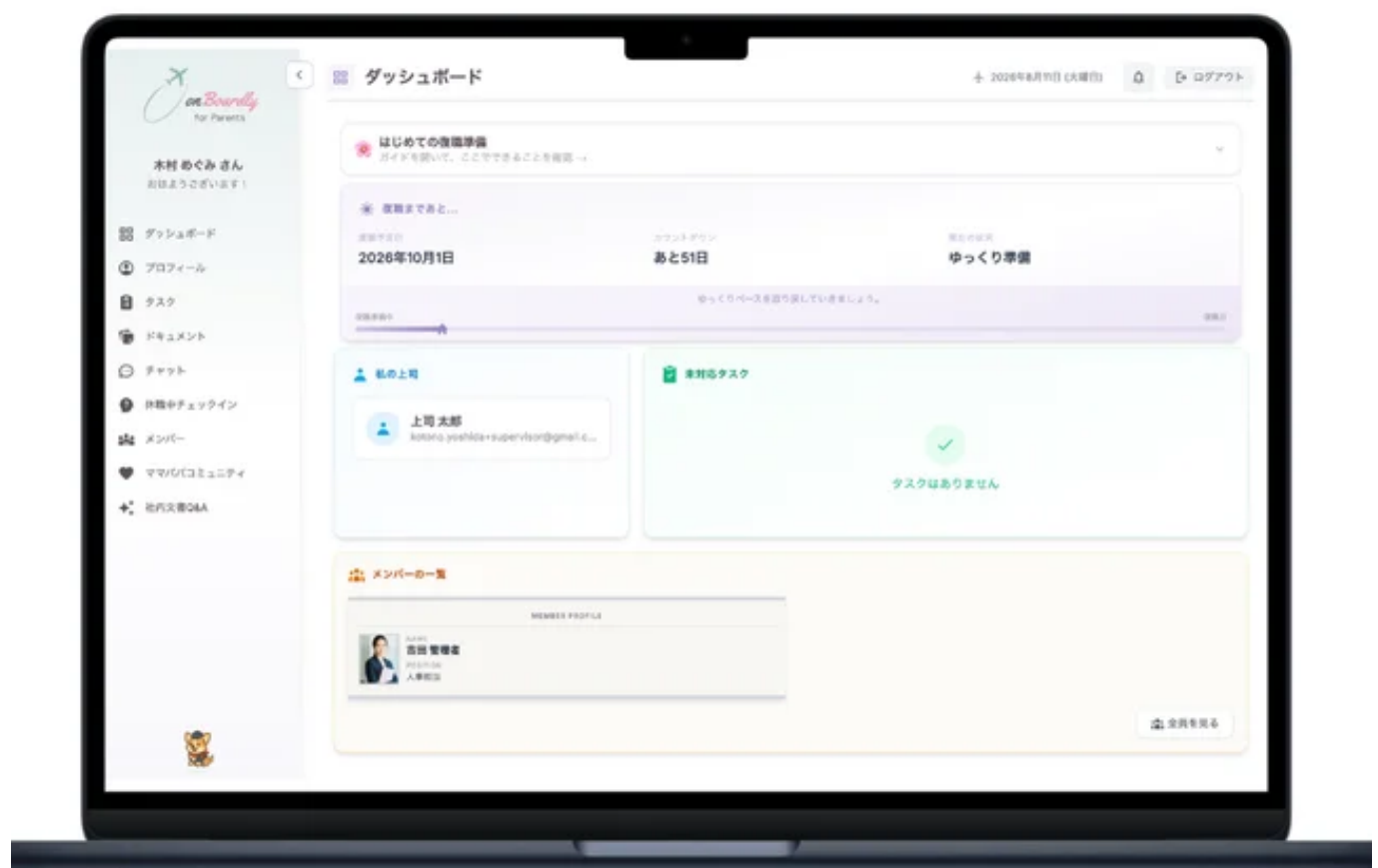


育休後の復職不安を解消する「onBoardly for Parents」を提供開始

—育休前・休業中・復職準備までを一貫支援するオンボーディングツールで、早期活躍を後押し—

HR Tech SaaSを展開する株式会社HRTtheory（本社：京都府相楽郡精華町、代表取締役：吉田琴乃）は、育休前準備・育休中・復職準備までの3フェーズを一貫して支援するオンボーディングサービス「onBoardly for Parents」を、2026年8月17日から提供開始します。この新サービスは、育休前後の心理的不安を軽減し、育休中も必要な情報やコミュニケーションに継続的にアクセスできる環境を整えることで、安心して育休を過ごしながらか、復職後のスムーズな立ち上がりや早期活躍を支援します。詳細は、<https://hrttheory.co.jp/onboardly-parents> にてご確認ください。



「onBoardly for Parents」 操作画面一例

サービスの目的や背景

近年、働き方の多様化に伴い、男女ともに育児休業の取得率は大幅に増加しています。女性の育休取得率は86.6%、男性は40.5%と過去最高水準に達しています。^{*1} さらに、男性の長期育休取得の増加や、女性が第一子・第二子の出産に伴い、通算で2〜3年、長い場合は4年前後にわたって職場を離れるケースも珍しくありません。こうした長期のブランクは、復職時の不安や、会社とのつながりの断絶による孤立感につながります。企業では育休制度の整備が進んでる一方で、復職に向けた心理的な支援は十分とは言えません。内閣府の調査では、「社会から孤立している感じがしたため、仕事ができるのか不安であった（男性）」^{*2}という回答も見られるなど、多くの育休所得者が復職への不安を抱えている実態が明らかになっています。人材不足が深刻化するなか、育休取得者が復職後に安心して能力を発揮できる環境を整えることは、企業にとって重要な経営課題となっています。本サービスを通じて、休職中においても、本人の希望に応じて必要な情報にアクセスし、会社とのつながりを維持できる環境づくりへのニーズに応えます。

サービス「onBoardly for Parents」概要

HRTtheoryは、こうした課題の解決に向けて、育休前準備・育休中・復職準備の3フェーズを一貫して支援するオンボーディングサービス「onBoardly for Parents」を開発しました。育休取得者が安心して休業に入り、休業中も会社とのつながりを維持しながら必要な情報にアクセスできる環境を整えることで、孤立感や復職不安を軽減し、スムーズな職場復帰と早期活躍を支援します。

<https://hrtheory.co.jp/onboardly-parents>

お問い合わせから最短3営業日で利用開始することができます。

●育休準備フェーズ

育休申請・引継ぎのタスク整理

チームからの「お祝いメッセージ」送付

産休・育休前の不安を軽減する事前コミュニケーション

●育休中フェーズ

専用チャットによる人事・上司・チームとの連絡（個人LINE不要）

社内ニュース共有で疎外感を軽減

AI社内文書Q&Aで「手続きどうするんだっけ？」を即解消

定期的なメンタル・モチベーションチェック

●復職準備フェーズ

復職タスク管理で「戻る準備」を可視化

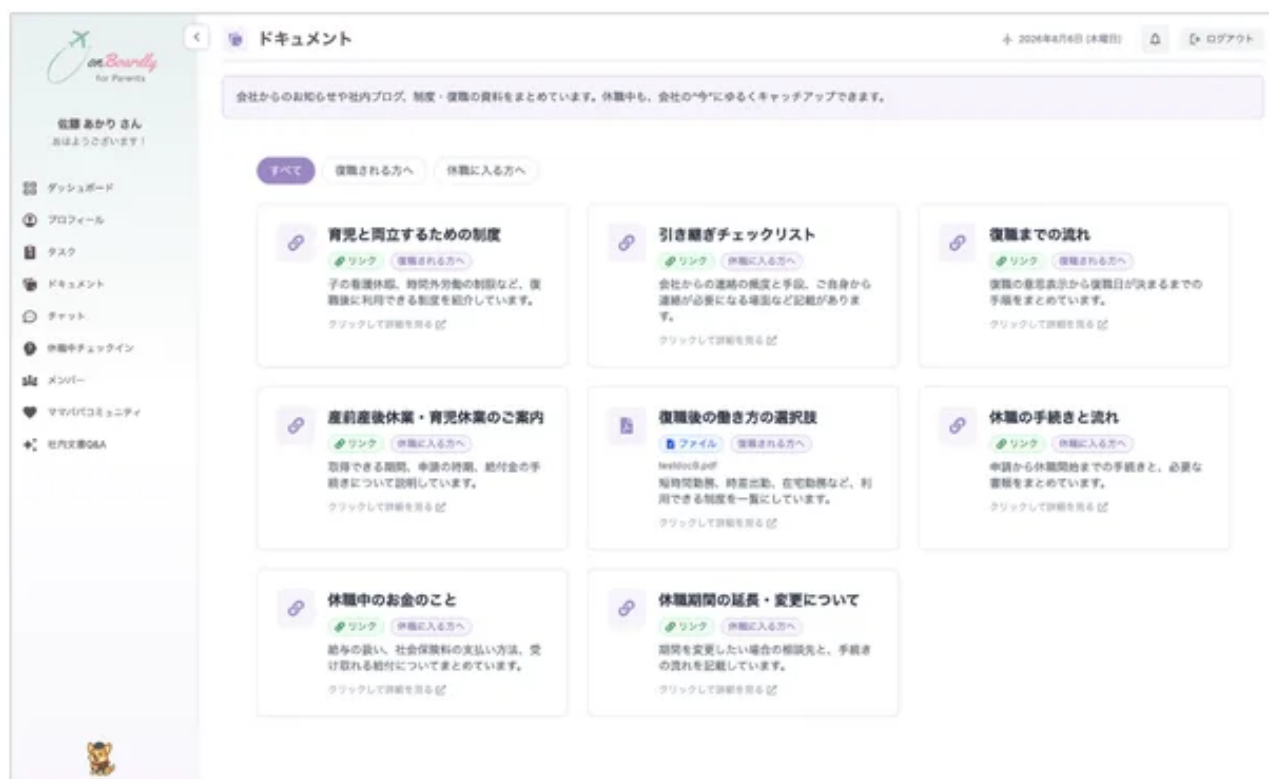
新しい部署・上司・メンバーのプロフィール共有

復職前から「おかえりなさい」メッセージが届く体験設計

主要機能（一例）

休業・復職ドキュメント

休職の手続きから、復職に向けたキャッチアップ資料まで、必要な情報を一か所に集約。「あれ、どうするんだっけ？」を、休業中でも自分のペースでいつでも確認できる。



AIに聞ける社内Q&A

「育休手当の申請って、いつまで？」そんな疑問も、AIが社内ドキュメントをもとに即回答。

人に聞きづらいことも、24時間・気兼ねなく解決できる。



ママ・パパコミュニティ

育児の悩みも、復職への不安も。社内のママ・パパ同士でトピックを立てて相談し合える。制度では埋められない“横のつながり”が、「一人じゃない」という安心を生む。



代表者コメント

株式会社HRTheory 代表取締役 吉田 琴乃

『onBoardly for Parents』は育児休業を起点に開発したサービスですが、休業からの復職を支える仕組みそのものは、育休に限らず、病気やけがの療養、海外帯同、家族の介護など、さまざまな事情で一時的に職場を離れるすべての方に活かせるものだとしています。今後はこの仕組みを、育休以外の幅広い休職の場面にも広げていき、会社と従業員のつながり維持するとともに、従業員にとっての"休業体験"を形づくり、スムーズな復職支援を広げてまいります。」



*1：令和6年度育児休業取得率の調査結果（雇用均等基本調査）のポイントについてhttps://tomoiku.mhlw.go.jp/assets/pdf/activity/document_R6.pdf?utm_source=copilot.com

*2：内閣府：仕事と生活の調和推進のための調査研究（令和7年8月）（16ページ）
https://www.cao.go.jp/wlb/research/wlb_r0707/2.pdf

■会社概要

会社名：株式会社HRTheory

所在地：京都府相楽郡精華町光台1-7 けいはんなプラザ ラボ棟

事業内容：HR Tech SaaSの開発・提供、HRコンサルティング

URL：<https://hrtheory.co.jp/>

お問い合わせ：pr@hrtheory.co.jp

株式会社HRTheoryのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/176862

（例）

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社〇〇 広報担当：〇〇

電話：〇〇〇〇 メールアドレス：〇〇〇〇 FAX：〇〇〇〇